

●一斉学習

■児童生徒発表型

実践タイトル 電子黒板に書き込んで分かりやすく発表する

本時のねらい

摘らいの方法について検討し、適切な摘らいについて理解する。課題把握の場面で課題の写真を大きく鮮明に見せることで、生徒の課題への理解を深め、意欲を高める。意見を発表する場面でも、電子黒板の拡大機能や色ペン機能等を使って発表することで、自分たちの考えを分かりやすく発表させる。

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

電子黒板

電子黒板の拡大機能で写真を鮮明に映すことやペン入力機能で生徒の興味を喚起することができ、課題への理解を深めさせることができた。班ごとに発表する時、電子黒板を活用することで、伝える内容を分かりやすく発表させることができた。

静止画

電子黒板の写真に線や文字を直接書き込むことで、生徒の発表が他の生徒に伝わりやすくなった。また、電子黒板に書き込む過程を見ることで、生徒が互いの思考の流れを理解することができ、それをクラスで共有することができた。

参考にしてほしいポイント

デジタルカメラと電子黒板を使うと、課題となる写真を大きく、鮮明に映し出すことができるので、一斉授業の中で課題を理解させることが容易になった。電子黒板、ワークシート、話し合いシート、黒板にある写真はすべて同じものを使用することで、写真に書き込んだり、指差して話し合ったり、視覚情報によって思考を深めることができた。デジタルなものだけでなく、アナログなものも併用することでICT機器を効果的に使用することができた。

学習の流れ(分)		主な学習活動と内容	ICT機器・教材、コンテンツ等
本時の展開	導入	0 ○栽培計画の振り返りと今日の作業の確認をする。	・電子黒板 ・ワークシート ・写真
	展開	5 ○摘らいの方法について個人で考える。 ○考えた内容を班で話し合い意見をまとめる。 45 ○まとめた意見を発表する。(写真3) ○生徒の意見をもとに摘らいのポイントをまとめる。 ○ポイントに従い、摘らいます。	・電子黒板(写真1) ・黒板 ・ワークシート ・写真 ・静止画(紙媒体)(写真2)
	まとめ	50 ○栽培記録や本時の感想を書き、発表する。	・電子黒板



写真1: 拡大で画像を鮮明に、色ペンで視線を集める



写真2: アナログでも視覚的に共有できる



写真3: 話し合いの結果をクラスで共有できる

児童生徒の反応

「先生が写真に直接書き込むので分かりやすかった」「教科書や黒板と比べて見やすかった」「電子黒板を使って発表すると見やすいし分かりやすかった」これらの生徒の感想に代表されるように、教師が使用する場合も、生徒が使用する場合も生徒の理解が深まっている。「授業がおもしろくなった、楽しい」等の感想からも、見やすくなることで課題への理解が深まり、意欲的に授業に取り組めるようになったことが分かる。

活用効果

評価の観点	生活や技術についての知識・理解
具体的変容	実物を見せるよりも、キクの写真を拡大提示することで、小さな蕾や芽が鮮明に映し出され、課題を把握することが容易になり、意欲的に授業に取り組むことができた。発表の時には、必要な蕾に○印を不要な蕾には×印を書き込み、電子黒板を使わない発表よりも、視覚的に分かりやすく発表できた。

実践の手応え

これまで難しく感じていた、キクの写真をを使った課題提示の場面で、電子黒板を活用することにより、クラス全体に短時間で課題を把握させることができた。そうすることで生徒が意欲的になるだけでなく、学習活動の時間確保にもつながった。学習時間が確保されたことで話し合い活動を充実させることができ、作業の時間を確保することもできた。